

看護学科

【教育理念】

本学科では、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成するために、看護に関する高度な専門知識・技術を教授研究し、“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を培う。あわせて、知的・道徳的・応用的能力を発揮するための基礎的な能力を養うとともに、人間相互の関係性を大切に、人間愛を高め、あらゆる健康のレベルにある人々に対して、その人々が最良の状態で生活し、自己実現を図るための的確な看護判断と実践のための基礎的な能力を修得する。これらを通して、看護の専門性を深め、地域・社会さらには国際社会においても貢献できる人材を育成することを目指す。

「“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的な能力を養い、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成する。」

【教育目標】

1. 人間と自然を愛し、“いのち”を尊重し、向き合うことができる豊かな人間性を育む。
2. 看護の対象の個別性・特性を尊重し、“ヒューマン・ケアリング”を行うことのできる能力を養う。
 - (1) 人間の基本的権利を擁護する姿勢を持つことができる。
 - (2) 事象への興味・関心を深め、豊かな感性を育み、“苦痛や苦悩”を受け止めて共感的に理解する姿勢を持つことができる。
 - (3) 科学的思考力を基盤に、対象の健康経過に伴う身体・精神・社会的“状況”を的確に判断し、柔軟かつ創造的なヒューマン・ケアリングを行うことができる。
3. 広く世界に目を向け、保健・医療・福祉チームの一員として、関係分野の職種と協働、連携を図り、看護職の役割を果たすことができる能力を養う。
 - (1) 国際保健や異文化の看護に目を向け、国際看護活動を進めていくための基礎的な知識や態度を身につける。
 - (2) 保健・医療・福祉分野への理解を深め、相互に機能していくための連携能力の基礎を身につける。
4. 社会の変化に対応し、常に自己啓発するとともに、創造的探究心を高め、看護の本質を追究し、展望する態度を養う。
 - (1) 課題を見出し、向き合い、主体的に解決行動を起こす態度を身につける。
 - (2) 倫理的感受性と態度を身につける。
 - (3) 看護現象に誠実に向き合い、科学的に探究し、看護実践の質の向上に寄与する研究的態度を身につける。

【アドミッションポリシー】

1. 人と自然を愛し、“いのち”を尊重し、育むところをもっている人
2. 相手の言葉や投げかけに関心を寄せ、誠実に対話し、対応することができる人
3. 問題を発見し、解決する意欲を持ち、行動することができる人
4. 広く世界に目を向け、異文化に関心を寄せる人

【カリキュラムポリシー】

“いのち”に対する豊かな感性と知性、及び幅広い人間性を備えた資質の高い看護専門職業人を育成するために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

1. 「基盤教育分野、専門基礎分野、専門分野」科目の教育内容が有機的に、学修できるよう考慮し科目群を編成した。基盤教育分野からは、自らの「立ち位置」を確認し、看護専門職としての今後の展望に繋がる柔軟な視点を養うことを意図している。また専門基礎分野では、看護学の専門性を支持する科目として、既に体系づけられている近接学問領域の知識や理論を「人間・保健科学系、社会科学系」に区分して、科目群を編成した。
2. 施設内から在宅・地域への“継続的な看護”、及び看護の対象のQOL（生活の質）を高める“総合的な看護”を目指して、その実践力を的確に養うために、看護学を「基礎看護学、健康支援看護学、療養支援看護学、母子支援看護学」の4領域に整理区分した。さらにそれぞれの学修内容を、臨地実習において深化し統合できるよう、3年次後期を中心に各臨地実習科目を編成した。
3. 看護学の科目群の設置・編成においては、“実践の科学”である看護学の特性を生かし、「看護学の基本⇒看護学の展開⇒看護学の臨床⇒看護学の発展と探求」と、系統的な区分編成をし、過程性、系統性を考慮した。

この編成においては、「臨床力（臨地に身を置き、多様な現実を読み取り、考え行動する力）」を高めることを重視し、「看護学の臨床」の内容充実に力を注いでいる。特に、1年次初期の早期学修（アーリーエクスポージャープログラム）の導入により看護への興味・関心を高め、4年次の課題別総合実習において、将来への展望を拓くことを意図した。加えて臨地実習施設との人事交流等を考慮した編成を行っている。

4. 学生の資質を調和よく発展させ、かつ身につけた知識や技術を統合し、創造的に課題解決していく姿勢を養うために、4年間の学修の効果的な統合として卒業年次の研究等の科目を編成している。

加えて4年間の科目群編成において、教員と学生の対話や、ディスカッションを深める等の双方向の教育の実践、さらにはチューターによる4年間を縦断した個別的支援等、効果的な教授・学修過程であることを念頭に、科目間の関連を考慮して編成した。

【ディプロマポリシー】

1. “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
2. 看護の対象の基本的な人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
3. 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
4. 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
5. 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

【取得できる資格】

1. 看護師国家試験受験資格
2. 保健師国家試験受験資格（選択制）
3. 養護教諭一種免許状
4. 看護師国家試験受験資格を得ることにより、社会福祉主事任用資格が取得できる。
5. その他
 - * 保健師免許取得後、申請により養護教諭二種免許状（P83の別表D）「第66条の6に定める科目」をすべて修得していること。）
 - * 保健師免許取得後、申請により第一種衛生管理者免許

【履修要領】

I. 卒業所要単位

看護学科においては、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。124単位の内容は次のとおりである。

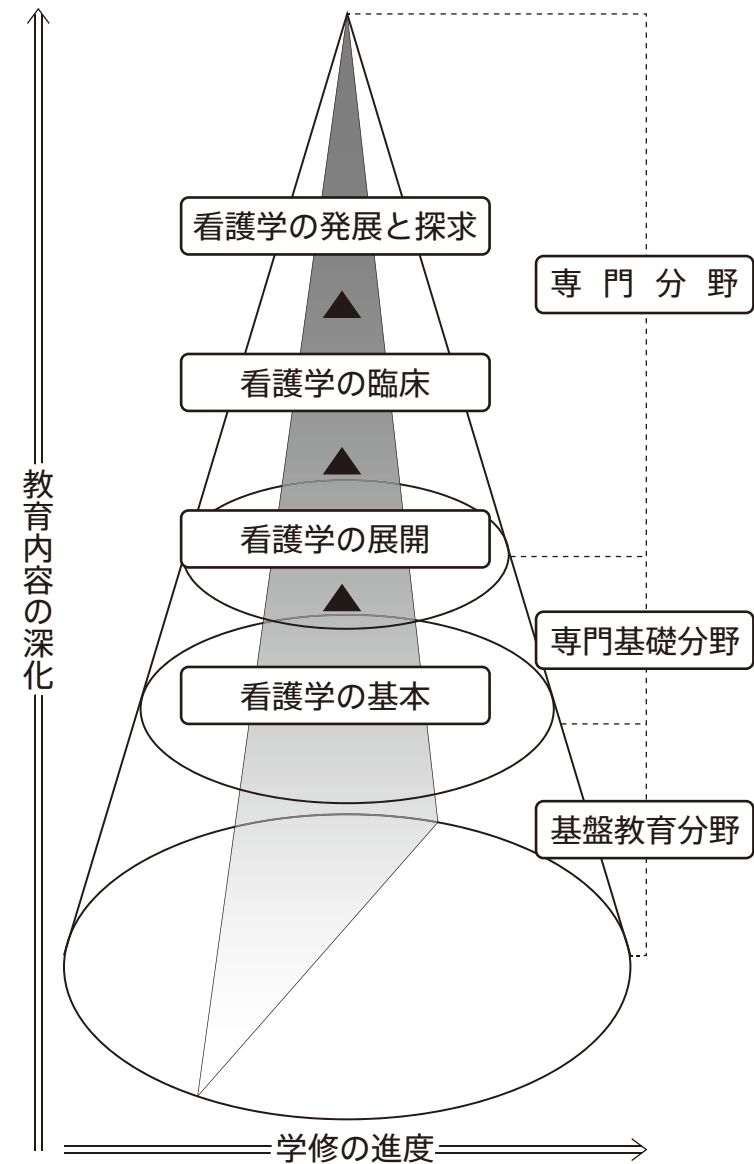
1. 必修科目については、基盤教育分野から10単位、専門基礎分野から22単位、専門分野から70単位、合計102単位を修得する。
2. 選択科目については、基盤教育分野から4単位以上、専門基礎分野の②から1単位以上、専門分野の③から5単位以上、④から1単位以上を修得するとともに、すべての選択科目から11単位以上、合計22単位以上修得する。

看護学科のカリキュラム概念図とカリキュラム編成

看護学科教育理念

“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的能力を養い、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成する。

【カリキュラム概念図】



- 専門分野： 看護の統合 看護の継続**
実習などで実践力（知識・技術・態度の統合）を高め、病院から地域へと看護を継続できる専門知識を修得します。
- 専門基礎分野： 科学的思考力 チーム医療**
医療の現場で求められる科学的知識、チーム医療などに必要な知識を修得します。
- 基盤教育分野：**
大学での学びの「型」を修得します。また多様な科目を学ぶことにより人間の幅を広げ、主体的に学ぶ姿勢を養います。

カリキュラムポリシー		教育目標		1. 人間と自然を愛し、“いのち”を尊重し、向き合うことができる豊かな人間性を育む。		2. 看護の対象の個性・特性を尊重し、“ヒューマン・ケアリング”を行うことのできる能力を養う。		3. 広く世界に目を向け、保健・医療・福祉チームの一員として、関係分野の職種と協働、連携を図り、看護職の役割を果たすことのできる能力を養う。		4. 社会の変化に対応し、常に自己啓発するとともに、創造的探求心を高め、看護の本質を追究し、展望する態度を養う。				
分野／区分		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		卒 業				
前 期		後 期		前 期		後 期		前 期		後 期		卒業要件		
専 門 分 野	看護学の発展と探求					看護研究方法論(2)	看護管理論(1)*	← 看護学研究 (2) → 災害看護学(1) 看護教育論(1) 異文化看護論(1) 医療英語(1) IPW演習(1) ※④ ※④1単位以上選択必修 医療・看護特論(1)				必修(70)単位・選択必修(6)単位以上	合計124単位以上	1. “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観
	看護学の臨床	看護活動基礎実習(1)	基礎看護学実習Ⅰ(1)	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)(2)	地域活動基礎実習(1)	療養支援実習Ⅰ(老年)(2)	健康支援実習Ⅰ(在宅)(2) 健康支援実習Ⅱ(精神)(2) 母子支援実習Ⅰ(小児)(2)** 母子支援実習Ⅱ(母性)(2) 療養支援実習Ⅱ(慢性に経過する患者の看護)(2) 療養支援実習Ⅲ(クリティカルケア看護)(2)	課題別総合実習(4)						
	看護学の展開			看護対象論Ⅱ(成人)(1) 看護対象論Ⅲ(老年)(1) 看護対象論Ⅴ(小児)(1) 地域包括ケア論(1)	慢性病看護論(2) クリティカルケアⅠ(2)** 看護対象論Ⅳ(母性・父性)(1) 在宅看護特性論(1) 精神看護特性論(1)** 老年援助論(2) 学校保健(2)*/** 健康相談の理論と方法(2)*/** 障害児保育(2)	緩和ケア(1) 精神援助論(2) 在宅援助論(2) 母性援助論(2) 小児援助論(2)** クリティカルケアⅡ(1) リハビリテーション看護論(1) 養護概説(2)** 家族看護学(2)	※③ ※③5単位以上選択必修							
	看護学の基本	看護学概論(2)** 生活健康論(2)**	看護対象論Ⅰ(1) 成人看護学概論(1) 老年看護学概論(1) 小児看護学概論(1)** 精神看護学概論(1)** 地域看護学概論(1) 基本看護技術Ⅰ(共通技術・生活援助技術)(2)	母性看護学概論(1) 在宅看護学概論(1) 基本看護技術Ⅱ(診療の補助技術)(2) 基本看護技術Ⅲ(フィジカルアセスメント)(1) 基本看護技術Ⅳ(看護過程)(1)										
専 門 基 礎 分 野	人間・保健科学系	看護解剖生理学Ⅰ(1)** 看護解剖生理学Ⅱ(1)** 健康科学総論(1)**	栄養学(2)**		臨床看護総論(2)							必修(22)単位 選択必修(1)単位以上	3. 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術	
	社会科学系		看護病理・病態学(1) 公衆衛生学(2)** 感染看護学(1)**	症候論Ⅰ(1) 薬理学(1)** 臨床検査総論(1)※②	症候論Ⅱ(1) 医療機器総論(1)※②	保健医療福祉総論(2)* 法と看護(1) 医療安全(1) IPW論(1) 国際保健医療活動Ⅱ(1)※②	国際保健医療活動Ⅰ(1) 国際保健医療活動Ⅱ(1)	保健医療福祉行政論(1)*② ※②2単位以上選択必修						
基 盤 教 育 分 野	創造実践科目群			基盤教育分野のカリキュラム表を参照								必修(10)単位・選択必修(4)単位以上	4. 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度	
	人間探究科目群	情報基礎(1)**** 健康スポーツ科学Ⅰ(1)**** 健康スポーツ科学Ⅱ(1)**** 英語コミュニケーションⅠ(1)****	英語コミュニケーションⅡ(1)****											
	学びの始め科目群	まなぶる・ときわびとⅠ(2)	まなぶる・ときわびとⅡ(1)					①4単位以上選択必修						
教職に関する科目	教育社会学(2)*** 教育原論(2)***	教育心理学(2)***	教職概論(2)*** 生徒指導論(2)***	特別支援教育(1)*** 総合的な学習の時間の指導法(1)*** 教育課程総論(2)*** 道徳教育と特別活動論(2)*** 教育方法・技術論(2)*** 教育相談(2)*** 養護実習Ⅰ(1)***	公衆衛生看護概論(2)* 健康教育の理論と方法(1)*	公衆衛生看護展開論Ⅰ(2)* 公衆衛生看護展開論演習Ⅰ(2)* 産業保健(1)*		公衆衛生看護管理論(1)* 公衆衛生看護学実習Ⅰ(2)* 公衆衛生看護学実習Ⅱ(3)*	養護実習指導(1)*** 養護実習Ⅱ(3)*** 教職実践演習(養護)(2)***	備考1	備考2	5. 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力		
			保健師課程に関する科目											
備考1：養護教諭一種免許状の取得：卒業所要単位を修得するとともに養護に関する科目（**印）32単位、教職に関する科目（***印）27単位、合計59単位以上を修得しなければならない。また、基礎科目として、****印の8単位を修得していなければならない。 養護教諭二種免許状の取得：基礎科目として、****印の8単位を修得していなければならない。 備考2：保健師国家試験受験資格の取得：卒業所要単位を修得するとともに*印の26単位を修得しなければならない														

看護学科 カリキュラムマップ

ときわコンピテンシー		知性・感性・専門性・市民性				
基礎	ディプロマポリシー	【DP1】 "いのち"に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける	【DP2】 看護の対象の基本的人権を擁護し、"苦痛や苦悩"を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける	【DP3】 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する	【DP4】 患者・家族や保健医療福祉チームと良好なコミュニケーションを深めるための基本的態度を身につける	【DP5】 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける
	学修成果					
基礎	教育課程	まなぶる ▶ と き わ び とⅠ	○		○	
		まなぶる ▶ と き わ び とⅡ	○		○	
基礎	教育課程	大学道場 miniゼミ A	○		○	
		大学道場 miniゼミ B	○		○	
基礎	教育課程	情報メディア演習		○	○	
		健康スポーツ科学Ⅰ	○	○	○	
基礎	教育課程	健康スポーツ科学Ⅱ	○		○	
		健康スポーツ科学Ⅲ	○		○	
基礎	教育課程	アカデミックライティング		○	○	
		コミュニケーション論		○	○	
基礎	教育課程	英語コミュニケーションⅠ			○	
		英語コミュニケーションⅡ			○	
基礎	教育課程	英語Aa (Communicative English Basic)			○	
		英語Ab(Communicative English Intermediate)			○	
基礎	教育課程	英語Ac (Communicative English Advanced)			○	
		英語B (Presentation Skills)			○	
基礎	教育課程	英語C (Current Issues)			○	
		手話コミュニケーション	○	○	○	
基礎	教育課程	多文化コミュニケーション	○		○	
		いのちと共生	○		○	
基礎	教育課程	人類と地球環境	○		○	
		暮らしの中の数学		○	○	
基礎	教育課程	基礎統計学		○	○	
		暮らしの中の物理学		○	○	
基礎	教育課程	現代社会と化学		○	○	
		人体のふし	○	○	○	
基礎	教育課程	現代社会と生命科学	○		○	
		安全	○	○	○	
基礎	教育課程	人類と農学	○		○	
		プログラミング入門		○	○	
基礎	教育課程	日本国憲法	○	○	○	
		哲学と倫理	○		○	
基礎	教育課程	生命倫理	○	○	○	○
		芸術文化論	○			
基礎	教育課程	文学	○			
		日本通史	○		○	
基礎	教育課程	国際社会論	○		○	
		現代社会学	○		○	
基礎	教育課程	政治学	○	○		
		経済学	○	○	○	
基礎	教育課程	組織マネジメント論	○	○		
		心臓臨床関係論	○	○	○	
基礎	教育課程	人間関係論	○	○	○	
		教育と人間	○	○	○	
基礎	教育課程	災害とまちづくり	○		○	
		国際理解	○		○	○
基礎	教育課程	科学技術論	○		○	
		地域との協働A	○		○	
基礎	教育課程	地域との協働B	○		○	
		コミュニティデザイン	○		○	
基礎	教育課程	プロジェクトデザイン	○		○	
		超とさわびと	○		○	○
専門基礎分野	創科目群 実践					
専門基礎分野	人間・保健科学系	看護解剖生理学Ⅰ	○			
		看護解剖生理学Ⅱ	○			
専門基礎分野	人間・保健科学系	臨床看護総論	○	○		
		栄養科学総論	○	○	○	
専門基礎分野	人間・保健科学系	看護病理・病態学Ⅰ	○	○		
		看護病理・病態学Ⅱ	○	○		
専門基礎分野	人間・保健科学系	臨床検査総論	○	○		
		医療機器総論	○	○		
専門基礎分野	人間・保健科学系	公衆衛生看護学	○	○		
		感染看護学	○	○		
専門基礎分野	人間・保健科学系	医療福祉総論	○	○		
		保健医療福祉総論	○	○		
専門基礎分野	社会科学系	法と看護Ⅰ	○	○	○	
		国際保健医療活動Ⅰ	○	○	○	○
専門基礎分野	社会科学系	国際保健医療活動Ⅱ	○		○	○
		保健統計学	○	○		
専門基礎分野	社会科学系	保健医療福祉行政	○	○		

とさわコンピテンシー		知性・感性・専門性・市民性						
教育課程	ディプロマポリシー	【DP1】 "いのち"に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける	【DP2】 看護の対象の基本的人権を擁護し、"苦痛や苦悩"を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける	【DP3】 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する	【DP4】 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける	【DP5】 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける		
	学修成果	"いのち"に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につけることができる	看護の対象・"苦痛や苦悩"を受けとめるために必要な知識を理解することができ	科学的思考・能力的基礎に、健康レベル、発見的な確実な判断力の基礎となる知識を修得、理解し、それを適用することができる	患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとることができる	医療に対する国際感覚をもち、国際看護活動を進めてくための知識・態度を身につけることができる		
	看護学概論 I	○	○	○	○			
看護学の基本	看護学概論 I		○	○				
	看護学概論 II	○	○					
	看護学概論 III	○	○					
	看護学概論 IV	○	○					
	看護学概論 V	○	○					
	看護学概論 VI	○	○					
	看護学概論 VII	○	○					
	看護学概論 VIII	○	○					
	看護学概論 IX	○	○					
	看護学概論 X	○	○					
看護学の展開	看護学概論 XI	○	○					
	看護学概論 XII	○	○					
	看護学概論 XIII	○	○					
	看護学概論 XIV	○	○					
	看護学概論 XV	○	○					
	看護学概論 XVI	○	○					
	看護学概論 XVII	○	○					
	看護学概論 XVIII	○	○					
	看護学概論 XIX	○	○					
	看護学概論 XX	○	○					
看護学の臨床	看護学概論 XXI	○	○					
	看護学概論 XXII	○	○					
	看護学概論 XXIII	○	○					
	看護学概論 XXIV	○	○					
	看護学概論 XXV	○	○					
	看護学概論 XXVI	○	○					
	看護学概論 XXVII	○	○					
	看護学概論 XXVIII	○	○					
	看護学概論 XXIX	○	○					
	看護学概論 XXX	○	○					
看護学の発展と探求	看護学概論 XXXI	○	○					
	看護学概論 XXXII	○	○					
	看護学概論 XXXIII	○	○					
	看護学概論 XXXIV	○	○					
	看護学概論 XXXV	○	○					
	看護学概論 XXXVI	○	○					
	看護学概論 XXXVII	○	○					
	看護学概論 XXXVIII	○	○					
	看護学概論 XXXIX	○	○					
	看護学概論 XL	○	○					
保健師分野	看護学概論 XLI	○	○					
	看護学概論 XLII	○	○					
	看護学概論 XLIII	○	○					
	看護学概論 XLIV	○	○					
	看護学概論 XLV	○	○					
	看護学概論 XLVI	○	○					
	看護学概論 XLVII	○	○					
	看護学概論 XLVIII	○	○					
	看護学概論 XLIX	○	○					
	看護学概論 L	○	○					
教職に関する科目	看護学概論 LI	○	○					
	看護学概論 LII	○	○					
	看護学概論 LIII	○	○					
	看護学概論 LIV	○	○					
	看護学概論 LV	○	○					
	看護学概論 LVI	○	○					
	看護学概論 LVII	○	○					
	看護学概論 LVIII	○	○					
	看護学概論 LIX	○	○					
	看護学概論 LX	○	○					

MEMO

学科別履修要領／看護学科

区 分	授 業 科 目	授業 形態	単位数			1 年		2 年		3 年		4 年		備 考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基 盤 教 育 分 野	学 び の 始 め	まなぶる ▶ と き わ び と I	演習	2		2								①基盤 教育分 野より 4単位 以上選 択必修
		まなぶる ▶ と き わ び と II	演習	1			1							
		大 学 道 場 m i n i z e m i A	演習		1	1								
		大 学 道 場 m i n i z e m i B	演習		1		1							
	人 間 探 究 育 科 目 群	情 報 基 礎	演習		1	1								
		情 報 メ デ ィ ア 演 習	演習	1			1							
		健 康 ス ポ ー ツ 科 学 I	講義	1		1								
		健 康 ス ポ ー ツ 科 学 II	演習	1		1								
		健 康 ス ポ ー ツ 科 学 III	実習		1		1							
		ア カ デ ミ ッ ク ラ イ テ ィ ン グ	演習		1		1							
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	講義		1	1								
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	演習	1		1								
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	演習	1			1							
		英語 A a (Communicative English Basic)	演習		1	1								
		英語 A b (Communicative English Intermediate)	演習		1		1							
		英語 A c (Communicative English Advanced)	演習		1					1				
		英 語 B (Presentation Skills)	演習		1			1						
		英 語 C (Current Issues)	演習		1				1					
		手 話 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	演習		1	1								
	人 間 探 究 育 科 目 群	多 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	演習		1		1							
		いのちと共生	講義		1		1							
		人 類 と 地 球 環 境	講義		1	1								
		暮 ら し の 中 の 数 学	講義		1	1								
		基 礎 統 計 学	講義		1	1								
		暮 ら し の 中 の 物 理 学	講義			1								
		現 代 社 会 と 化 学	講義		1	1								
		人 体 の ふ し ぎ	講義		1	1								
		現 代 社 会 と 生 命 科 学	講義		1	1								
		安 全 学	講義		1	1								
		人 類 と 農 学	講義		1	1								
		ブ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	演習		1		1							
		日 本 国 憲 法	講義		2	2								
		哲 学 と 倫 理	講義		1	1								
		生 命 と 倫 理	講義	1			1							
	人 間 探 究 育 科 目 群	芸 術 文 化 論	講義		1	1								
		文 学	講義		1	1								
		日 本 通 史	講義		1	1								
		国 際 社 会 論	講義		1		1							
		現 代 社 会 学	講義		1		1							
		政 治 学	講義		1		1							
		経 済 学	講義		1	1								
		組 織 マ ネ ジ メ ン ト 論	講義		1		1							
		心 理 臨 床 学	講義	1			1							
		人 間 関 係 論	講義		1	1								
		教 育 と 人 間	講義		1	1								
		災 害 と ま ち づ くり	講義		1	1								
		国 際 理 解	講義		1	1								
		科 学 技 術 論	講義		1		1							
	創 造 実 践 科 目 群	地 域 と の 協 働 A	演習		1		1							
		地 域 と の 協 働 B	演習		1			1						
		コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イン	演習		1		1							
		ブ ロ ジ ェ ク ト デ ザ イン	演習		1			1						
専 門 基 礎 分 野	人 間 ・ 保 健 科 学 系	超 と き わ び と	演習		1			1						② *印の 選択科 目から 1単位以 上選択 必修
		看 護 解 剖 生 理 学 I	講義	1		1								
		看 護 解 剖 生 理 学 II	講義	1		1								
		臨 床 看 護 総 論	講義	2					2					
		栄 養 学	講義	2			2							
		健 康 科 学 総 論	講義	1		1								
		薬 理 学	講義	1				1						
		看 護 病 理 ・ 病 態 学	講義	1			1							
		症 候 論 I	講義	1				1						
		症 候 論 II	講義	1					1					
		臨 床 検 査 総 論	講義		1			1						
		医 療 機 器 総 論	講義		1				1					
		公 衆 衛 生 学	講義	2			2							
		感 染 看 護 学	講義	1			1							
		医 療 安 全	講義	1						1				

学科別履修要領／看護学科

区 分		授 業 科 目	授業 形態	単位数			1 年		2 年		3 年		4 年		備 考	
				必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	社会科学系	保健医療福祉総論	講義	2							2				*]	
		法と看護学ⅠP W論	講義	1							1					
		国際保健医療活動Ⅰ	講義	1									1			
		国際保健医療活動Ⅱ	演習		1					1		1				
		保健医療統計学	講義	2					2							
		保健医療福祉行政論	講義		1									1		
専門分野	看護学の基本	看護学概論	講義	2			2								③ 5単位以上 選択必修	
		生活健康論	講義	2			2									
		看護対象論Ⅰ	演習	1				1								
		成人看護学概論	講義	1				1								
		老年看護学概論	講義	1				1								
		母性看護学概論	講義	1					1							
		小児看護学概論	講義	1				1								
		在宅看護学概論	講義	1					1							
		地域看護学概論	講義	1				1								
		精神看護学概論	講義	1				1								
		基本看護技術Ⅰ（共通技術・生活援助技術）	演習	2				2								
		基本看護技術Ⅱ（診療の補助技術）	演習	2					2							
		基本看護技術Ⅲ（フィジカルアセスメント）	演習	1					1							
		基本看護技術Ⅳ（看護過程）	演習	1					1							
	看護学の展開	慢性病看護論	講義	2						2						
		クリティカルケアⅠ	講義	2						2						
		緩和ケア	講義	1							1					
		看護対象論Ⅱ（成人）	講義	1					1							
		看護対象論Ⅲ（老年）	講義	1					1							
		看護対象論Ⅳ（母性・父性）	演習	1						1						
		看護対象論Ⅴ（小児）	演習	1					1							
		在宅看護特性論	演習	1						1						
		地域包括ケア論	演習	1					1							
		精神看護特性論	演習	1						1						
		老年援助論	演習	2						2						
		在宅援助論	演習	2							2					
		精神援助論	演習	2							2					
		母性援助論	演習	2							2					
	看護学の臨床	小児援助論	演習	2							2					
		クリティカルケアⅡ	講義		1							1				
		リハビリテーション看護論	講義		1							1				
		家族看護学	講義	2								2				
		学校保健	講義	2						2						
		養護概論	講義	2							2					
		特別支援教育	講義		1					1						
		健康相談の理論と方法	講義		2					2						
疫学		講義		2							2					
看護学の臨床		看護活動基礎実習	実習	1			1									
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1				1								
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	実習	2					2							
		地域活動基礎実習	実習	1						1						
		療養支援実習Ⅰ（老年）	実習	2								2				
		療養支援実習Ⅱ（慢性に経過する患者の看護）	実習	2								2				
		療養支援実習Ⅲ（クリティカルケア看護）	実習	2								2				
		母子支援実習Ⅰ（小児）	実習	2								2				
		母子支援実習Ⅱ（母性）	実習	2								2				
	健康支援実習Ⅰ（在宅）	実習	2								2					
看護学発展と探求	健康支援実習Ⅱ（精神）	実習	2								2					
	課題別総合実習	実習	4									4				
	看護研究方法論	講義	2							2						
	災害看護学	講義	1									1				
	看護学研究	演習	2									2				
	看護管理論	講義	1								1					
	看護教育論	講義		1								1				
	異文化看護論	講義		1								1				
	医療英語	演習		1								1				
	ⅠP W演習	演習		1								1				
医療・看護特論				1								1				
小 計				102	64	1	39	33	21	20	24	17	13	2		

卒業単位：102単位＋11単位（選択必修）＋11（選択）＝124単位

学科別履修要領／看護学科

区 分	授 業 科 目	授業形態	単位数			1 年		2 年		3 年		4 年		備 考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
関保 する 保健 師課 程に 関する 科目	公衆衛生看護学概論	講義		2					2					
	公衆衛生看護展開論	講義		2						2				
	公衆衛生看護展開論演習	演習		2						2				
	健康教育の理論と方法	講義		2					2					
	公衆衛生看護管理論	講義		1								1		
	産 業 保 健	講義		1						1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習		2								2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習		3								3		
小 計			0	15	0	0	0	0	4	5	0	6	0	
合 計			102	79	1	39	33	21	24	29	17	19	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教 職 概 論	講義			2			2						
	教 育 原 論	講義			2	2								
	教 育 心 理 学	講義			2		2							
	教 育 社 会 学	講義			2	2								
	特 別 支 援 教 育	講義		1					1					
	教 育 課 程 総 論	講義			2				2					
	道 徳 教 育 と 特 別 活 動 論	講義			2				2					
	総合的な学習の時間の指導法	講義			1				1					
	教 育 方 法 ・ 技 術 論	講義			2				2					
	生 徒 指 導 論	講義			2			2						
	教 育 相 談	講義			2				2					
	養 護 実 習 指 導	講義			1							1		
	養 護 実 習 Ⅰ	実習			1				1					
	養 護 実 習 Ⅱ	実習			3							3		
	教 職 実 践 演 習 (養 護)	演習			2								2	
小 計					26	4	2	4	11	0	0	4	2	
総 合 計			102	79	27	43	35	25	35	29	17	23	4	

- (注意) 1. 授業科目の学年配当は標準を示すものです。時間割表と一致しない場合があるので注意すること。
2. 保健師課程に関する科目及び教職に関する科目の単位数は、卒業所要単位には含めないもので注意すること。

学科別履修要領／看護学科

Ⅱ. 履修上の注意事項

1. 看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第2号に定める単位すなわち、上記卒業所要単位を修得しなければならない。
2. 保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第2号に定める単位すなわち、上記の卒業所要単位を修得するとともに、別表Aに示す「保健師国家試験受験資格取得に必要な単位数」の29単位を修得しなければならない。保健師課程は定員30名の選択制であるため選択者の選定を行う。選定時期は第2学年後期末とし、所定の履修要件に従い判断する。

別表A 保健師国家試験受験資格取得に必要な単位数

区分	看護学科で開設している授業科目	授業形態	開設単位数		資格取得に必要な単位数	
			必修	選択	必修	選択
専門基礎分野	保健医療福祉総論	講義	2		2	
	保健統計学	講義	2		2	
	保健医療福祉行政論	講義		1	1	
専門分野	地域看護学概論	講義	1		1	
	地域包括ケア論	演習	1		1	
	学校保健	講義		2	2	
	健康相談の理論と方法	講義		2	2	
	疫学	講義		2	2	
	看護管理論	講義	1		1	
保健師分野	公衆衛生看護学概論	講義		2	2	
	公衆衛生看護展開論	講義		2	2	
	公衆衛生看護展開論演習	演習		2	2	
	健康教育の理論と方法	講義		2	2	
	公衆衛生看護管理論	講義		1	1	
	産業保健	講義		1	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習		2	2	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習		3	3	
合 計			7	22	29	

3. 養護教諭一種免許状の取得

- (1) 養護教諭一種免許状を取得するには、本学に4年以上在学し卒業所要単位を修得することが「基礎資格」であり、かつ、別表B及び別表Cに示す必修科目、合計57単位を修得しなければならない。

また、基礎科目については、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める別表Dの科目を8単位修得しなければならない。

- (2) 養護教諭一種免許状取得に必要な単位を修得した者には、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、**兵庫県教育委員会**から免許状が授与される。

4. 養護教諭二種免許状の取得

- (1) 養護教諭二種免許状を取得するには、別表D「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目を8単位修得していなければならない。
- (2) 保健師免許取得後に上記の単位修得証明書を添付し、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、居住地の教育委員会から免許状が授与される。

MEMO

別表B 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備 考
		授 業 科 目	単位数		
			必修	選択	
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	健康科学総論 公衆衛生学 疫学	1 2 2		予防医学を 含む
学校保健	2	学校保健	2		
養護概説	2	養護概説	2		
健康相談活動の理論及び方法	2	健康相談の理論と方法	2		
栄養学（食品学を含む。)	2	栄養学	2		
解剖学及び生理学	2	看護解剖生理学Ⅰ 看護解剖生理学Ⅱ	1 1		
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	感染看護学 薬理学	1 1		
精神保健	2	精神看護学概論 精神看護特性論	1 1		
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	看護学概論 生活健康論 小児看護学概論 クリティカルケアⅠ 小児援助論 母子支援実習Ⅰ（小児）	2 2 1 2 2 2		
合 計	28		30		

学科別履修要領／看護学科

別表C 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数		備 考
科目	各科目に含める ことが必要な事項	単位数	授業科目	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	2		
道徳、総合的な学習の時間、 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育と特別活動論	2		
	総合的な学習の時間の指導法			1		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法・技術論	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習指導	1		
			養護実習Ⅰ	1		
			養護実習Ⅱ	3		
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習（養護）	2		
合 計		21		27		

別表D 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

1. 第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		必修	選択	備 考
		授 業 科 目	単位数			
日本国憲法	2	日本国憲法	2			
体育	2	健康スポーツ科学Ⅰ	1			
		健康スポーツ科学Ⅱ	1			
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1			
		英語コミュニケーションⅡ	1			
情報機器の操作	2	情報基礎	1			
		情報メディア演習	1			
合 計	8		8			

注）養護教諭二種免許状を取得する場合も、上記の単位修得が必要です。